

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時に自力で避難できない利用者が、緊急連絡網や近隣地域の人との協力で対応できるのか周知徹底する。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築く。	地域から協力してもらえること、反対に施設が地域に協力できることを話し合い、災害発生時にお互いが助け合えるような関係を築く。職員研修にて火災・天災等の災害別の対応を想定し、定期的に模擬訓練を行う。	12ヶ月
2	33	延命に関することの方針が変わることも予想して、本人・家族・医療機関と当事業所との連携や体制面を見直し、利用者の希望に添ったケアを行う。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組む。	支援体制の整備に努め、①本人・家族・医療機関・当事業所の連携環境を整える。②職員の研修、資格取得を支援し技術・知識の向上を目指す。③家族面談を通し適切なタイミングで利用者の希望に添うような、看取りに向けたケアを提供する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。